

【No. 1】 商業施設の職能に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業施設にとってマーケッター、プランナー、デザイナー、コンストラクターは相互に専門家として共働していくことは重要である
2. 5W1Hは常に最新の状況を把握するために意識すべきである
3. 商業施設士は自由にその職能が発揮でき、建築士と違い、法律・規則には縛られない
4. 商業施設士にとって店舗づくり、まちづくりの視点は常に重要な二つの側面と言える

答. 3

【No. 2】 昔から言われている「日本の三大商人」に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 江戸商人、大阪商人、近江商人
2. 江戸商人、大阪商人、甲州商人
3. 大阪商人、近江商人、甲州商人
4. 大阪商人、近江商人、伊勢商人

答. 4

【No. 3】 商業施設の創業・開店などに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 1930年（昭和5年）、「松坂屋・上野支店」が、わが国で初めて、地下鉄とデパートビルの売場を直結させた
2. 1944年（昭和19年）、世界初のターミナルデパートとして「東横百貨店」が創業した
3. 1953年（昭和28年）、わが国初のセルフサービス式・スーパーマーケットとして「紀ノ国屋」が開店した
4. 1974年（昭和49年）、「セブンイレブン」のフランチャイジー日本第1号店が東京・江東区にオープンした

答. 2

【No. 4】小売業に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか

1. 小売業はどんな商品売るかという業態店から、どんな顧客に対してどんな売り方をするかの業種店開発によって進化していく
2. 食品を扱う小売業の業種店は減少傾向にある
3. 日本の小売業の店舗数を人口比で見ると世界的に多い方に属する
4. 商業統計調査では業種ごとの商店数や年間販売額の実態が発表される

答. 1

【No. 5】国家戦略特区制度に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 地域限定の規制緩和制度である
2. 外国人による家事代行サービスはできない
3. 一部の企業や団体だけが利益を得られるケースが出てくる
4. 企業による農地取得ができる

答. 2

【No. 6】都市再生特別措置法に関する次の文章の、に入る最も適当なものはどれか。

『平成 26 年度に一部改正された都市再生特別措置法では「居住誘導区域」と「都市機能誘導区域」の設定による、市町村のコンパクトなまちづくりを支援する に関する制度を創設した。』

1. 地域ネットワーク計画
2. 民間都市再生事業計画
3. 都市再生基本計画
4. 立地適正化計画

【No. 7】製品の欠陥や契約トラブルなどで多数の消費者に代わり、適格認定を受けた特定消費者団体が、金銭被害の回復を求めて提訴できるようになった「消費者裁判手続き特例法」(H27/10. 施行)は、『日本版クラスアクション』とも呼ばれている。

次の記述のうち、このクラスアクションを表わす最も適当なものはどれか。

1. 集団訴訟
2. 代表訴訟
3. 認定訴訟
4. 民事訴訟

【No. 8】6次産業に関する次の文章の の中に入る語句の組み合わせのうち、最も適当なものはどれか。

『6次産業化とは、農林漁業者（1次産業従事者）がこれまでのように A だけではなく、自ら連携して B (2次産業)・ C や D (3次産業) に取組む経営の多角化を進めることで、農山漁村の雇用確保や所得の向上を目指すこと』

- | | A | B | C | D |
|----|-----|----|----|------|
| 1. | 労働力 | 製造 | 販売 | サービス |
| 2. | 生産 | 加工 | 流通 | 販売 |
| 3. | 原材料 | 製造 | 加工 | 販売 |
| 4. | 生産 | 調達 | 加工 | 宣伝 |

【No. 9】商業業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 百貨店業界の 2016 年度年間売上は、中国旅客などの爆買い等が沈静化し、10 兆円規模にとどまった
2. インターネットの個人向け通販の伸び率は著しく、2015 年度には 13 兆円を超えた
3. ドラッグストア業界では、2016 年度、マツモトキヨシが首位、2 位はウエルシアとなっている
4. スーパーマーケット業態、いわゆる GMS 業態は苦戦しており、大手流通企業は食品スーパーマーケットを中心とした展開にシフトしている

答. 1

【No.10】 物品販売施設に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 売場面積が 600 m²を超えると主要避難通路は 1.8m 以上確保する必要がある
2. 薬局の調剤室面積（内法面積）は 6.6 m²以上でなければならない
3. 「建築基準法」により、店舗の壁、天井等の室内仕上げ（内装）材の性能定められている
4. 店舗の用に供される床面積の合計が基準面積 500 m²を超える大規模小売店舗を新設しようとするときは、都道府県に届け出ることが「大規模小売店舗立地法」で定められている

答. 4

【No.11】 青果店に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 青果店は、生肉店、鮮魚店とともに生鮮三品とよばれている
2. 青果店が減少している要因は、スーパーマーケットなど大型店の進出が大きい
3. 青果店は果物や野菜を売ることが主力で、日配品などは取り扱わない
4. 青果店の店舗構成は、間口を広めに取り奥行きは浅めの店舗スタイルが一般的である

答. 3

【No.12】 中国料理店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. エントランスホールから一般席への導入と宴会席への導入は分けた方が良い
2. パントリーから一般席へのサービス動線と宴会室へのそれは分けた方が良い
3. 平面計画の基本で厨房面積は 50 坪の店であると 40% くらいの比率になる
4. 中国料理店の個室は円形テーブルを用いることが多い

答. 3

【No.13】 S P Aに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. S P Aとは、製造をメーカーに委託した、ブランド商品の販売をいう
2. S P Aとは、製造から小売りまで一貫した販売業態をいう
3. S P Aとは、[Speciality store retailer of Private label Apparel]の頭文字を組み合わせた造語である
4. S P Aの方式は、アメリカの衣料品小売業大手の「G A P」が始まりである

答. 1

【No.14】 商業施設に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業施設とは、商品、サービスが人々に効率よく提供される空間である
2. 商業施設は、時代の変化を適切に先取りしてつくり込む空間である
3. 商業施設は、その本来の目的が常に変化していくために、工期、工程など「工事内容」の概念をいつも念頭に入れてコトを進める
4. 商業施設の工事を考える時に他の施設との違いは「時間」に対する視点が重要である

答. 3

【No.15】 商業施設づくりに関連する各種法規に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「建築基準法」の目的は、建築物の敷地、構造、設備、用途に関する最低の基準を定め、生命、健康、財産の保護を図ることと謳われている
2. 建築物の設計等にたずさわる人の法律として「建築士法」という法律がある
3. 商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律として、2009年に「地域商店街活性化法」が施行されている
4. 「興業場法」により、建築物（防火対象物）に設ける、どん帳、幕、じゅうたん、展示用合板の防災規制の規定がある

答. 4

【No.16】 色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. トリムカラーとは、構造物の中心に使用される色のことである
2. 色の三属性とは、色相・明度・彩度のことである
3. トーン（色調）とは、明度と彩度を併せた概念であり、明るい華やかな、暗いなどの色の調子を形容するもの
4. 地色とは内部空間の背景色となるべき色彩のことであり、壁・床・天井などを覆う部材の色のこと

答. 1

【No.17】 光と照明に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 色光の三原色は赤みの橙・緑・青紫である
2. 色温度とは光源の光色を表す尺度で、色温度が低いほど赤みを帯びて見える
3. 輝度とはある方向から見た物の輝きの強さで、その値が大きいほど心地良く感じる
4. 可視光線とは人が認識できる光の波長であり、波長は 380～780nm である

答. 3

【No.18】 平面計画における防災に関する次の記述のうち、**最も不適切な**ものはどれか。

1. 集合住宅において、水平方向の避難動線となるバルコニーの戸境パネルは、容易に破壊できるものとする
2. 事務所ビルにおいて、防災センターを設ける場合、消防隊が屋外からアクセスしやすい場所に配置することが望ましい
3. 事務所ビルの避難経路は、避難による混乱を起こさないため、日常の動線と明確に区別する
4. 大規模な物販店舗においては、出火したエリアから防火区画された出火していないエリアへ、一時的に水平避難できることが有効である

答. 3

【No.19】 サイン計画に関する次の記述のうち、**最も不適切な**ものはどれか。

1. サインには、「署名」「符号」「標識」などの意味がある
2. サインとは、「身振りで合図する」ことや「形」「記号」によって情報を伝達する表現方法である
3. サインには、「屋号」や「商標」は含まれない
4. サインは古くから存在し、奈良時代には日常生活で登場した記録がある

答. 3

【No.20】 ピクトグラムに関する次の記述のうち、**最も不適切な**ものはどれか。

1. ピクトグラムは、絵文字のことである
2. わが国のピクトグラムは、デザイン性や認知度が高く、世界共通のモデルとして定着している
3. ピクトグラムは、サイン計画において活用されることが多い
4. ピクトグラムは、言語に代わって情報を伝える手段である

【No.21】 アメニティ計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律を通称スマートビル法と言う
2. バリアフリーデザインは車椅子使用者や視覚、聴覚に障害を持つ人々を対象にしている
3. ユニバーサルデザインは人間の一生において通常経験する老化現象を対象にしている
4. 車いすが回転するためには 170cm×170cm 以上の広さが必要である

【No.22】 省エネルギー計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 環境共生とは、エネルギー・資源・廃棄物等の面で環境への負荷を低減し、周辺環境と調和して健康で快適に生活できるよう工夫することをいう
2. ログスとは、環境と人間の健康を重視するライフスタイルをいう
3. 省エネ法とは、エネルギーの使用の合理化を総合的に進め、国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする
4. 商業施設は昇降機を除くすべてが省エネ法に基づく性能指標を満足しなければならない

【No.23】 環境計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 環境アセスメント制度とは、小規模な店舗出店にも適応される
2. CASBEEとは、建築環境総合性能評価システムのことで、建築物の環境性能を評価し、格付けする手法である
3. ライフサイクルとは、人の生涯・寿命・一生の各段階を意味する用語で、商品・会社・業態などにも広く用いられている

4. 人間を取り巻く環境要因には自然的・人工的・社会的要因がある

答. 1

【No.24】 コスト計画に影響する基本事項に関する次の記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

1. 契約内容を確認することは重要である
2. 設計変更の多い商業施設ではスケジュールを初期に確認してもコストには影響がない
3. 一般的な建築仕様をローコストにすることはコストに重要である
4. 引き込み負担金は建設コストの要因として配慮すべきである

答. 2

【No.25】 工事監理業務に関する次の記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

1. 施工図の検討及び承諾
2. 模型、材料及び仕上げ見本の検討及び承諾
3. 労働安全、安全衛生対策に対する助言
4. 施工要領書の作成

答. 4

【No.26】 木材に関する次の記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

1. 木材は最も古くから利用されてきた材料で、世界各国の様々な種類の天然木材がある
2. 特に日本の木材はすぐれた材料であり、反り・割れ・収縮などの欠点は、殆どみられない
3. 木材は「再生可能天然資源」であるが、森林の樹木が違法伐採・加工され、その対策は国際社会の共通課題となっている

4. 木材は木取りによって柾目、板目、杢目に区分される

答. 2

【No.27】 建具工事に関する次の語句の組み合わせのうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 金属製建具 —— フロアヒンジ
2. 建具金物 —— シリンダー
3. 木製建具 —— ウッドデッキ
4. 開口部窓 —— クレセント

答. 3

【No.28】 家具什器工事に関する次の語句の組み合わせのうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. ソファ —— ウレタン
2. テーブル —— 甲板
3. 戸棚 —— ダボ
4. 椅子 —— 丁番

答. 4

【No.29】 建築材料に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. リサイクル材の利用はC A S B E Eによる建物の評価に寄与する。
2. 屋根に高反射性の塗料を塗ると室内の冷房負荷が大きくなる。
3. 保水性を有するインターロッキングブロックは路面温度を下げる働きがある。
4. 下図は窓の熱貫流率に関するものである



答. 4

【No.30】 維持管理に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. プロパティマネジメント …… 不動産に関する資産の管理を行う管理手法
2. スtockマネジメント …… 既存の建物を有効に活用し、長寿命化を図る手法
3. ファシリティマネジメント …… 業務用不動産を建設するための経営管理手法
4. リノベーション …… 建物の用途や機能を変更して、性能を向上させること

答. 3
